鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、 許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和11年3月31日までです。

①研究課題名

女子プロ野球選手の「投・打・走」に関する研究

②対象者及び対象期間

日本女子プロ野球機構に在籍した女子プロ野球選手 (18~35歳) 70名 (鹿屋体育大学 SPORTEC スポーツパフォーマンス研究センターにて、2015年3月から2019年10月までの期間中にパフォーマンス測定に参加した者)

③概要

本研究は、2015 年~2019 年に鹿屋市とのスポーツまちづくり推進事業の一環として実施された 測定で得られた既存データを使用します. 測定時点では研究目的ではなく, 選手への評価・フィードバックを目的として取得されたものであり, 測定から相当期間が経過しており, 現在では日本女子プロ野球機構は所属選手が 0 名で無期限の活動休止をしているため, 対象者への直接連絡や同意取得は困難です. 加えて, 対象者の現住所や所属が変わっている可能性が高く, 同意取得を試みることによる負担やリスク(誤送付による個人情報漏えい等)が懸念されます. このため, 個人が特定されないよう匿名化処理を施した上で. オプトアウト方式により実施します.

本研究は女子プロ野球選手 (18~35歳) 70名を対象に、野球における「投・打・走」のパフォーマンスに関する知見を提供することを目的とします。「投」の測定では、投手野手ともに投げる能力(投球速度や球質)を測定しました。投手はマウンドから捕手へ投球し、ボールの回転や変化も測定しました。「打」の測定では、打つ能力(スイング速度)を測定しました。トスされたボールを打撃しました。「走」の測定では、走る能力(塁間走や直線走のタイム)を測定しました。これらと併せて、野球の「投・打・走」パフォーマンスと関係の強い握力、背筋力、ジャンプおよびメデシィンボール投げを行いました。

野球は「投・打・走」の総合的な運動能力が求められる競技であり、これらの能力は競技成績を左右する重要な要素です。 男子野球においては投球速度や打撃速度、疾走能力に関する科学的研究が数多く蓄積され、トレーニングや選手育成の基盤となっています。 一方で、 我が国では女子野球の競技人口が年々増加し、 世界的にもトップレベルの実力を有しているにもかかわらず、 女子選手を対象とした科学的研究は依然として少なく、とくに「投・打・走」といった基礎的パフォーマンスに関する知見は不足しています。 このギャップを埋めることは、 女子野球界の発展や選手育成に資する重要な課題です。

④研究の目的・意義

本研究では、2015 年から 2019 年にかけて鹿屋市および日本女子プロ野球機構の依頼を受けて実施された測定事業で収集されたデータを用います。当該データは当初、選手への評価やフィードバックを目的として取得されたもので、測定から相当期間が経過しており、対象者の連絡先は不明確となっています。そのため、個人が特定されないよう匿名化を徹底し、研究機関ホームページでの公開によるオプトアウト方式を採用し、対象者に拒否の機会を保障する体制で研究を遂行します。

既存データを転用する理由は、これらが日本のトップレベルにある女子プロ野球選手の希少なパフォーマンスデータであり、 同様の対象者を現時点で新たに集めることは極めて困難だからです。 過去の測定データを研究目的に転用することで、 初めて女子野球のパフォーマンスに関す

	る科学的知見を体系的に提示することが可能となります. その公益性
	は、対象者に新たな負担やリスクを生じさせないことから十分に正当化
	されます. したがって, 本研究は女子野球における科学的エビデンスを
	拡充し、競技力向上や普及・発展に寄与する公益性の高い研究です.
⑤研究期間	倫理審査承認日から令和 11 年 3 月 31 日まで
	2015年3月から2019年10月に実施した測定事業で収集されたデータを
⑥情報の利用目的及び	研究目的に利用します. 使用するデータには身体計測値, パフォーマン
利用方法(他の機関へ	スデータ,動画・静止画像が含まれますが,個人が特定されないよう匿
提供される場合はその	名化または仮名加工を施した上で分析に用います。なお、対象者への直
方法を含む。)	接連絡が困難な場合には、対象者が過去に所属していた団体や関係機関
	を通じて、データ利用に関する周知を行います.
	・身体組成データ(年齢、競技歴、投打、身長、体重、体脂肪率、除脂
⑦利用または提供する	防体重), パフォーマンスデータ(投球速度, スイング速度, 疾走タイ
情報の項目	ム)、投球動作のキネマティクス変数(位置、速度、角度等)およびキ
	ネティクス変数(地面反力、力積等)
	鹿屋体育大学スポーツイノベーション推進機構・特任助教・鈴木智晴
⑧利用の範囲	
⑨研究試料・情報の管	鹿屋体育大学スポーツイノベーション推進機構・特任助教・鈴木智晴
理について責任を有す	Tel: 0994-46-5034
る者	Email: c-suzuki@nifs-k.ac.jp
(お問い合わせ先)	
	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係
⑩事務局	Tel: 0994-46-4820
	E-mail: kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と	
研究責任者	